



平成 27 年 12 月 17 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F F R I  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鵜 飼 裕 司  
(コード番号：3692 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 最 高 財 務 責 任 者 田 中 重 樹  
( TEL. 03-6277-1811 )

## 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリとの業務提携拡大 FFR yaraiの月額課金型マネージドサービスの提供に関するお知らせ

当社はかねてより富士通株式会社の連結子会社である株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：川口浩幸、以下「富士通SSL」）との間で、標的型攻撃対策ソフトウェア「FFR yarai」の販売に関する提携を行っていましたが、この度、当社の標的型攻撃対策ソフトウェア「FFR yarai」の月額課金型マネージドサービスの販売に関する契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 提携拡大の理由

近年の急激に増え続けるマルウェア※1による攻撃に対しては、従来のパターンマッチング型のアンチウイルスソフトだけでは対抗することが難しくなっています。

最近では、悪意の第三者により日々膨大な数のマルウェアが作りだされており、アンチウイルスソフトは、パターンファイルの作成及び配信が追い付いていない状況です。

さらに、高度なサイバー攻撃に使用されるマルウェアは、アンチウイルスソフトでは検知されない（パターンファイルに登録されていない）未知のマルウェアが使用されているという現実もあります。

また、主に中小企業において標的型攻撃を含む未知脅威対策を実施しようとしたときに、セキュリティ製品導入・運用時の負荷が導入障壁のひとつになっています。FFR yaraiを数百台以上の規模で導入するにあたっては、ライセンス管理やアップデート、イベント管理などを集中管理できる必要があり、ユーザーによっては対応が難しいケースが多くあります。

このような状況の中、当社はこれまで上記のような理由で導入が難しかったユーザー向けに製品を提供すべく、国内大手SIerである富士通SSLと販売面における協業の検討を重ねた結果、この度、契約の締結に至りました。

## 2. 提携拡大の内容

### 「FFR yarai」の導入・統合管理を容易にするマネージドサービス

本サービスは、企業・組織内の「FFR yarai」ライセンスの統合管理（インストール、ポリシー配布による集中管理、アップデート、ライセンス管理、イベント管理等）を委託いただくサービスです。ユーザーは同サービスを利用いただくことにより、「FFR yarai」統合管理を手軽に活用でき、企業・組織内に「FFR yarai」管理者や管理コンソールの配置が不要になるほか、一か月単位の月額契約となるため、初期導入コストや運用管理コストを大幅に削減できます。

### インシデント発生時のマルウェア検体の解析等も国内の研究開発体制で迅速に

外国製のセキュリティ製品を利用している場合、インシデント発生時に海外拠点と連携するため、問題解決までに時間とコストを要し、被害も拡大してしまうケースも見受けられます。

一方、同サービスをご利用いただいた場合、インシデント発生時のマルウェア検体の解析等も当社の国内の研究開発体制で対応するため※2、スムーズに問題解決でき、コスト削減にもつながります。

当社と富士通SSLは、月額マネージドサービスの提供を通じ、今後も中小企業のサイバーセキュリティ対策を支援してまいります。

## 3. 日程

契約締結日 平成27年12月17日

## 4. 今後の見通し

本業務提携による当社の平成28年3月期業績に与える影響は軽微の見込みです。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

※1 コンピュータ・ウイルス、スパイウェアなど、悪意のある目的を持ったソフトウェアやプログラムのこと。

2 有償サービスとなります。

以上